令和５年度川崎市立高等学校専門学科合同発表会
川崎市立川崎総合科学高等学校全日制建設工学科の発表です。

●　オープニングの音楽が流れ、テロップが現れます。

【テロップ】
　川崎市立の高校には１３の専門学科があることをキミは知っているか？

●　タイトルが現れます。

【タイトル】
　令和５年度川崎市立高等学校専門学科合同発表会
　川崎総合科学高等学校全日制建設工学科

●　建設工学科の専門科目の授業、実習風景を撮影した動画が流れ、テロップが表示されます。

●　１年生の造形実習、測量実習、ＣＡＤ実習、木工実習の動画が流れます。

【テロップ】
　建設工学科では、まちづくり・空間デザイン・ものづくりなどの建設系分野を中心に、専門性の高い学習をしていきます。

●　２年生都市システムコースの造形実習、土質実習、測量実習の動画が流れます。

【テロップ】
　２年次からは専門教科の選択が加わっていき、都市システムコース

ではＣＡＤ（ＡｕｔｏＣＡＤ、Ｖ－ｎａｓＣｌａｉｒ）や測量実習、材料実験などを学びます。

●　２年生建築デザインコースの図法実習、ＣＡＤ実習、測量実習の動画が流れます。

【テロップ】
　建築デザインコースでは設計製図やＣＡＤ（ＡｕｔｏＣＡＤ、Ｖ－ｎａｓＣｌａｉｒ）などを学びます。

●　３年生建設デザインコースの製図､都市システムコースの土質実習、都市システム製図の動画が流れます。

【テロップ】
　施工管理技士や建築士を目指すことに対応したカリキュラムを組むことで、将来を見据えることができます。
　それでは、生徒２名の課題研究発表をご覧ください！

●　次のようなテロップが表示されます。
　課題研究発表１
　川崎総合科学高等学校（全日制）
　建設工学科３年　成毛さん
　都市システム代表作品
　「人の想いと命を守る町づくり～津波から人々を守る～」
　（一部抜粋）

●　課題研究発表会の様子が上映されます。
　生徒がスライドショーを再生しながら発表を行っています。

●　スライド１枚目、課題研究のタイトル「人の想いと命を守る町づく

り～津波から人々を守る～　建設工学科３年　２９番　成毛　翠」が表示されます。

【ナレーション】

私の研究テーマは、人の想いと命を守る町づくり～津波から人々を守る～です。

●　スライド２枚目、研究の理由・目的が表示され、説明が行われます。

【ナレーション】

研究の理由・目的です。

理由は、近年地震が増えてきているため、景観と人々の命を守る町づくりをしたいと思ったからです。

目的は、人の命と景観を守りたいという想いを叶える町づくりにすることです。

●　スライド３枚目、研究内容と構想計画が表示され、説明が行われます。

【ナレーション】

研究内容と構想計画です。

景観を損なわない防潮堤の製作、避難場所の見直し、避難タワーなど、人々が逃げやすくするための取り組み、アナウンス設備の改善です。

●　スライド４枚目以降、図を用いて、防潮堤についての説明が行われます。

【ナレーション】

最初に、防潮堤についてです。

防潮堤は本当に必要なのか？

この研究を始めて、最初はただ大きいものを造ればいいと思っていました。

ですが、高さだけでは、地域の人々の親しみのある景観を壊すこと、製作費などを考えていくと、ただ大きいだけでは意味がないと考えられました。

津波から命を守るには、防潮堤や住宅の強化などがありますが、自然は予想のはるか上をいくものです。

東日本大震災のようなことを繰り返さないためにも、素早く逃げることが一番安全であると思います。

そのため、津波に絶対負けない防潮堤ではなく、逃げるための防潮堤、町づくりを目指そうと決めました。

● 続いて、２人目の発表に移り、次のようなテロップが表示されます。

課題研究発表２

川崎総合科学高等学校（全日制）

建設工学科３年　小島さん

建築デザイン代表作品

「戸塚にある商店街の再興」

（一部抜粋）

● スライド１枚目、課題研究のタイトル「戸塚にある商店街の再興　建設工学科　小島　由樹」が表示されます。

【ナレーション】

建設工学科小島由樹です。

よろしくお願いします。

● スライド２枚目、「設計ｐｌａｎｎｉｎｇ」と書かれたスライドが表示され、続いて、スライド３枚目、コンセプトが表示され、説明が行

われます。

【ナレーション】

はじめにコンセプトです。

近隣の小学生や中学生が、学校終わりに待ち合わせをしたり、一緒に宿題をしたりする場所、高齢者の生きがいづくり、住み続けたいまちにするなどなど、これらをもとにまとめました。

● スライド４枚目、完成した施設全体の図面が表示され、スライド５枚目以降、それぞれの施設について説明が行われます。

【ナレーション】

そして、完成した図面がこちらです。

右側が図書館、左側が地区センター、柏尾川沿いには屋外ステージがあります。

（地区センターの）１階には、室内運動場があります。

２階には貸店舗があり、ワーキングスペースなどに使えます。

この貸店舗には、地元の店から出店してもらうことで、色々な店を知ってもらえる機会を増やしました。

次に屋上です。

屋上にはビオトープがあります。

子供達に田んぼや畑の体験をしてもらうことで、自然を身近に感じてもらうことができます。

また、地元の農家の人の手を借りることで、地産地消や地元の野菜に興味を持ってもらえるようにしました。

最後に、屋外ステージになります。

柏尾川のほとりの上下にせり出していて、ステージを使っていないときはそのまま歩道として使うことができます。

そのため、偶然通りかかった人がイベントに興味を持ったら、気軽に見に来られるのがポイントです。

商店街や学校とコラボしたイベントを楽しみながら、地域の人と交流するきっかけを作ります。

● スライド１２枚目、「最後にｌａｓｔｌｙ」と書かれたスライドが表示され、続いて、スライド１３枚目以降、まちの未来について図などを用いて提言がされています。

【ナレーション】

最後に、農業体験などの「教育」、自然やご近所付き合いが増えれば、地域で「共育」、商店街と協力した催し物や朝市などの「協育」から、子供が過ごしやすい環境づくりも貢献できるのではないでしょうか。

高齢者、親、子どもが、それぞれつながることで、まちの未来にもつながると考えました。

人と自然とまちが共に成長し、自分がその立場になったときに、また返したくなるような気持ちを持ってくれるのが、まちの未来に一番大事なことだと思います。

● 令和５年度川崎市立高等学校専門学科合同発表会のタイトルロゴが現れ、「詳しくは学校ホームページをご覧ください！」と表示され、「川崎総合科学高校　建設工学科　検索」と表示されます。

● 川崎市のブランドメッセージロゴ「Ｃｏｌｏｒｓ，Ｆｕｔｕｒｅ！いろいろって、未来　川崎市」が表示されます。